NEC

# 15型液晶ディスプレイ

形名
# N8171-42

# 取扱説明書

## もくじ


ページ

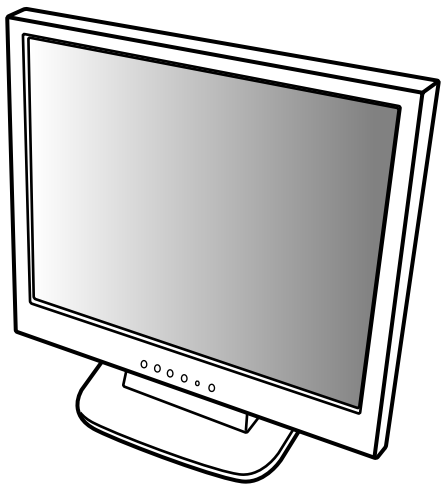
はじめに
- 安全にお使いいただくために［必ずお読みください］…… 3
- 付属品の確認…… 5
- 各部の名前とはたらき…… 6

接　続
電源入・切
- 接続・電源入／切…… 8
  - 基本装置との接続…… 8
  - 電源の接続…… 8
  - 電源の入れかた…… 9
  - 電源の切りかた…… 9

画面調整
- 画面調整のしかた…… 10
  - 画面調整について…… 10
  - バックライトの明るさ調整…… 10
  - 画面の自動調整…… 11
  - 画面の手動調整…… 12

補　足
- お手入れ・保管・アフターサービスについて… 15
  - お手入れのしかた…… 15
  - 保管にあたって…… 15
  - 故障かな？と思ったら…… 16
  - アフターサービスについて…… 16
- 仕様…… 17

ご参考：VESA規格準拠アームの取り付けかた… 19

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
**ご使用の前に、「安全にお使いいただくために」を必ずお読みください。**
この取扱説明書は、保証書とともに、いつでも見ることができる所に必ず保存してください。
本装置を譲渡する場合は、必ずこの取扱説明書も一緒に譲渡してください。
本取扱説明書を紛失した場合は、お買いあげの販売店、または当社営業にお問い合わせください。

※ TFT カラー液晶パネルは、非常に精密度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しない画素や常時点灯する画素が存在する場合があります。また、見る角度によっては、色のムラや明るさのムラが生じる場合がありますが、いずれも液晶モニターの動作に影響を与える故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
※ 長時間静止画を表示しないでください。残像や焼き付けの原因になることがあります。
※ 輝度調整を最小にすると、見えにくいことがあります。
※ コンピュータ信号の質が表示品位に影響を与えることがあります。高品位の映像信号を出力できるコンピュータの使用をおすすめします。
※ 本機は、日本国内用です。海外では使えません。

---

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

---

正しい取り扱いをしても、電波の状況によりラジオやテレビジョン受信機の受信に影響を及ぼすことがあります。そのようなときは、次の点にご注意ください。
　※ この製品をラジオ、テレビジョン受信機から十分に離してください。
　※ この製品とラジオ、テレビジョン受信機を別のコンセントに接続してください。
なお、くわしくは、お買いあげの販売店、または当社営業にご相談ください。

**本書の表記について**
※ 本書では、Microsoft Windows 2000 を「Windows2000」と表記します。
※ Microsoft、Windows は、米国マイクロソフト社の米国、およびその他の国における登録商標です。
※ そのほか、本書で記載されている会社名や商品名は、各社の商標または登録商標です。

**お願い**
※ この製品は厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一故障または不具合がありましたら、お買いあげの販売店、または当社営業までご連絡ください。
※ お客様または第三者がこの製品の使用誤り、使用中に生じた故障、その他不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
※ この製品は付属品を含め、改良のため予告なく変更することがあります。

# 安全にお使いいただくために

**絵表示について**　この取扱説明書には、安全にお使いいただくためのいろいろな絵表示をしています。その表示を無視して、誤った取り扱いをすることによって生じる内容を次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ **警告**　人が死亡または重傷を負う恐れがある内容を示しています。

⚠ **注意**　人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示しています。

**絵表示の意味**　（絵表示の一例です。）

⚠ 記号は、**気を付ける**必要があることを表しています。

記号は、**してはいけない**ことを表しています。

記号は、**しなければならない**ことを表しています。

## ⚠ 警 告

**電源コードを傷つけたり、重い物を載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたりしないでください。また、加工しないでください。**電源コードを傷め、火災や感電の原因になります。

禁止

**雷が鳴り始めたら、落雷による火災や感電を防ぐために、モニターのスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。**

電源プラグをコンセントから抜く

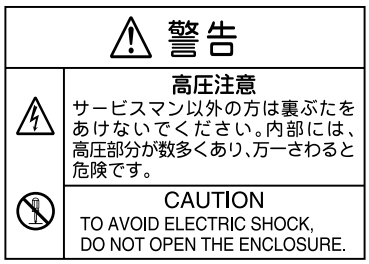
**発熱したり、煙が出たり、変なにおいがするなどの異常な状態で使用を続けると、火災や感電の原因になります。異常が起きたら、すぐにモニターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、お買いあげの販売店にご連絡ください。**

電源プラグをコンセントから抜く

**裏ぶたを外さないでください。**内部には電圧の高い部分があり、触ると感電する恐れがあります。

分解禁止

感電注意




「本体背面ラベルに表示した事項」

## ⚠ 警 告

**アース接続をしてください。**アース接続をせずに、万一、故障した場合は感電の恐れがあります。

- アースリード線をコンセントの他の電極に挿入・接触させないでください。
- アース接続は、必ず電源プラグをコンセントに差し込む前に行ってください。また、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。順番を誤ると、感電の原因になります。

**風通しの悪い場所、ほこりや湿気の多い場所、油煙や湯気の当たる場所では使用しないでください。**火災の原因になります。

設置禁止

**水などの液体がかからないようにしてください。また、クリップやピンなどの異物が機械の中に入らないようにしてください。**火災や感電の原因になります。

禁止

**ACアダプターおよび電源コードは、必ず付属のものを使用してください。**付属以外のものを使用すると、火災の原因になることがあります。

付属品を使用

**電源は、AC100V(50/60Hz)のコンセントを使用してください。**指定以外の電源を使用すると、火災の原因になることがあります。

100ボルト以外使用禁止

**電源プラグは、コンセントに直接差し込んでください。**タコ足配線をすると、過熱により火災の原因になることがあります。

## ⚠ 警 告

**本製品の使用環境について**

人命や高度な信頼性を必要とする業務には使用しないでください。
本装置は医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など人命に関わる設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これらの設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。

## ⚠ 注 意

**火災や感電を防ぐために、次のことをお守りください。**

- ●電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
- ●夜間、旅行などで長時間使用しないときは、モニターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ●電源プラグや電源コードが熱いとき、またコンセントへの差し込みがゆるく電源プラグがぐらついているときは、使用をやめて、お買いあげの販売店にご相談ください。

**ぐらつく台の上や、不安定な場所に置かないでください。また、強い衝撃や振動を与えないでください。**

落ちたり、倒れたりしてけがの原因になることがあります。

**直射日光の当たる場所や暖房器具の近くなど、高温になる場所で使用しないでください。**

発熱や発火の原因になることがあります。

**硬いものでこすったり、たたいたりしないでください。**

破損してけがの原因になることがあります。

## ⚠ 注 意

**あお向け、横倒し、逆さまにして使用しないでください。**

熱がこもり、発熱や発火の原因になることがあります。

**改造や分解はしないでください。また、お客様による修理はしないでください。**

火災や感電、けがの原因になることがあります。

**移動するときは、電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続ケーブルを外してください。**

コードやケーブルが引っ掛かり、落ちたり、倒れたりしてけがの原因になることがあります。

**健康のために、次のことをお守りください。**

- ●連続して使用する場合は、１時間ごとに１０分から１５分の休憩を取り、目を休ませてください。
- ●明暗の差が大きい所では使用しないでください。
- ●日光が画面に直接当たる所では使用しないでください。

**年に一度を目安にモニター内部を清掃してください。（お買いあげの販売店、または当社営業にご相談ください。）**

内部にほこりがたまると、発熱や発火の原因になることがあります。

**近くで無線機を使用しないでください。**

本製品の近くでＰＨＳ、携帯電話等の無線機を使用すると誤動作の原因になることがあります。

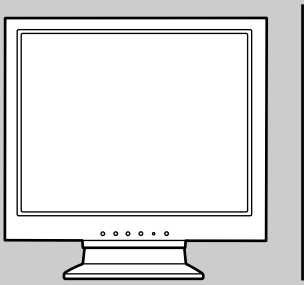
**液晶ディスプレイを廃棄する場合には正しく廃棄してください。**

液晶ディスプレイに使用している蛍光管（バックライト）には水銀が含まれておりますので、本製品を廃棄する際は法律に従ってください。詳細は、所在の地方自治体にお問い合わせください。

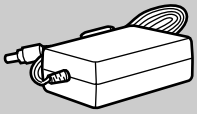
# 付属品の確認

箱の中に次のものが入っているか確かめてください。
万一、不足のものがありましたら、お買いあげの販売店、または当社営業にご連絡ください。

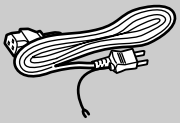
モニター本体（1台）



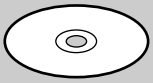
ACアダプター（1個）



電源コード（1本）

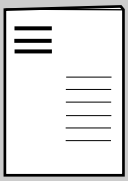


CD-ROM（1枚）



ユーティリティディスク
(Windows専用)

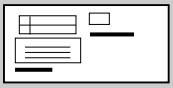
取扱説明書（1部）



(本書)

構成品表（1部）

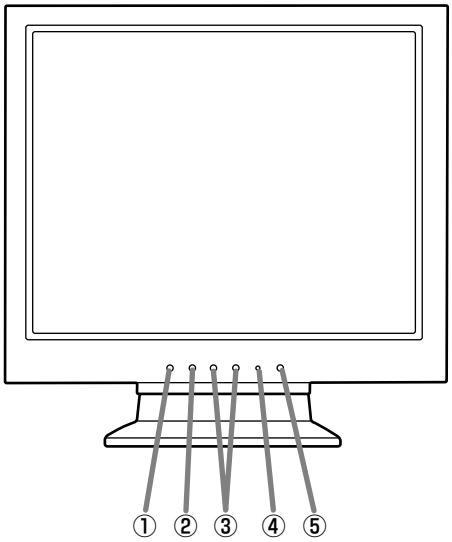
保証書（1部）



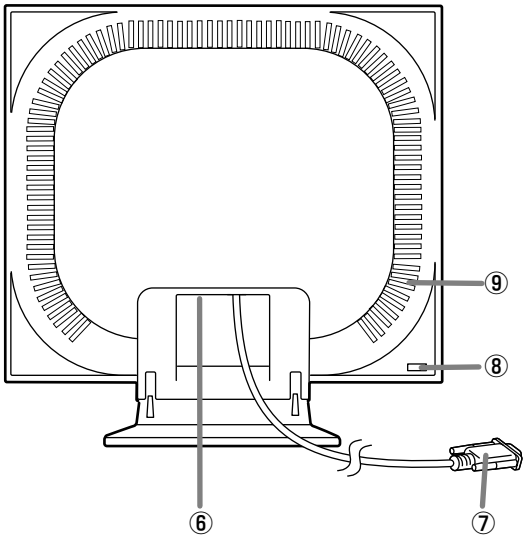
※梱包箱は、輸送などに備えて保管しておいてください。

# 各部の名前とはたらき

前面




背面




① **MENU ボタン** ..... 調整メニューの表示、切り替え、消去を行います。
② **SELECT ボタン** ..... 調整メニューが表示されているとき、調整項目の選択に使います。
③ **◀▶ ボタン** ..... 調整メニューが表示されているときは、調整値の変更や調整項目内容の切り替えを行います。
バックライト調整バーが表示されているときは、バックライトの明るさを調整します。
④**電源ランプ** ..... 通常表示時は緑色に、パワーセーブ時はオレンジ色に点灯します。
⑤ **POWER(電源)ボタン** .... ボタンを押すと、電源が入ります。(電源を入れた後、画面が表示されるまで少し時間がかかることがあります。)
もう一度ボタンを押すと、電源が切れます。
⑥**電源端子** ..... 付属の AC アダプターを接続します。
⑦ **RGB 信号ケーブル** ..... 基本装置のアナログ RGB 出力端子に接続します。
⑧**盗難防止ホール（ K ）** ..... 市販の盗難防止ロックを接続すると、本体を持ち運べないように固定することができます。盗難防止ホールは、Kensington 社製マイクロセーバーセキュリティシステムに対応しています。
⑨**通風孔** ..... ※通風孔をふさがないでください。内部に熱がこもり、故障の原因となります。

## ■ディスプレイ部の立てかたと角度調整

**！ご注意**

※ ディスプレイ部を動かすときは、必ず枠の部分を持ってください。液晶パネルに手を当てて力を加えると、破損の原因になります。
※ ケーブルが下敷きにならないようにしてください。ケーブルを下敷きにしてディスプレイ部を動かすと、断線などの原因になります。

### ディスプレイ部の立てかた

スタンド部分を押さえながら、ディスプレイ部を静かに起こします。

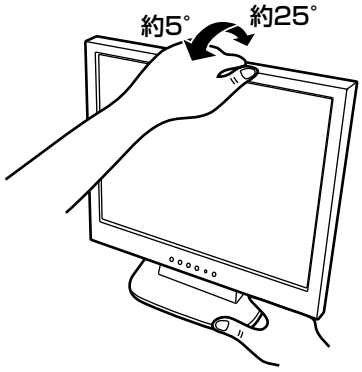
### ディスプレイ部の倒しかた(梱包箱に入れるとき)

**※ 断線などの故障の原因になりますので、移動等で梱包箱に収納するとき以外は、ディスプレイ部を倒さないでください。**

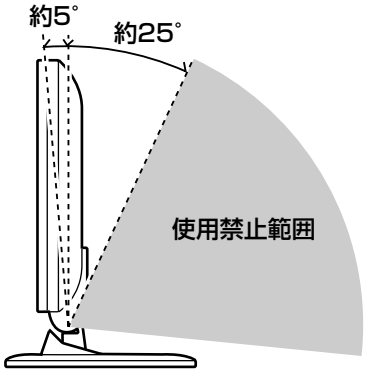
1. AC アダプターを取り外す。
2. スタンド部分を押さえながら、ディスプレイ部を静かに後方に倒す。
   いっぱいまで倒してください。

### 角度調整について

ディスプレイ部の両側を軽く持って、見やすい角度に調整します。




⚠ 注意 **後方に倒した状態で使用しないでください。**
モニターが倒れて、けがや、故障の原因になることがあります。

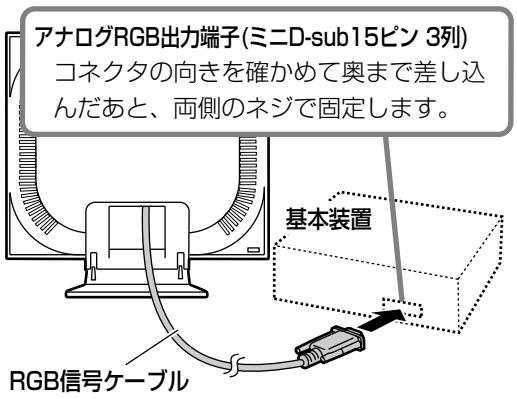


# 接続・電源入／切

## 基本装置との接続

接続は、モニターおよび基本装置の電源を切った状態で行ってください。

※ ケーブルを無理に曲げたり、ケーブルに力が加わらないようにしてください。断線などの故障の原因になります。



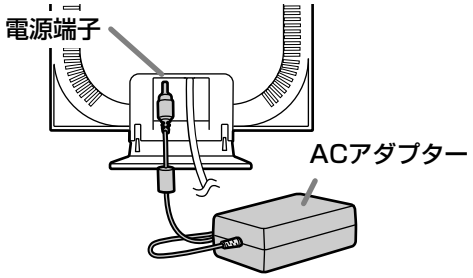

## 電源の接続

> ⚠ 注意 **電源は、AC100V(50/60Hz)のコンセントを使用してください。**指定以外の電源を使用すると、火災の原因になることがあります。

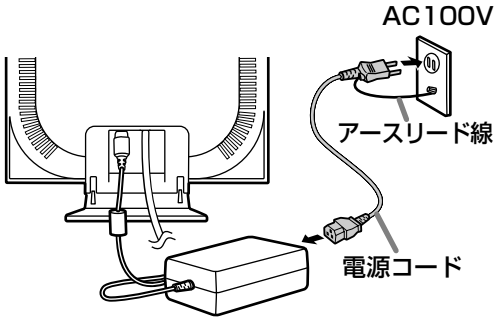
ACアダプターおよび電源コードは、必ず付属のものを使用してください。

※ ケーブルを無理に曲げたり、ケーブルに力が加わらないようにしてください。断線などの故障の原因になります。

**1. 付属のACアダプターを電源端子に接続する。**



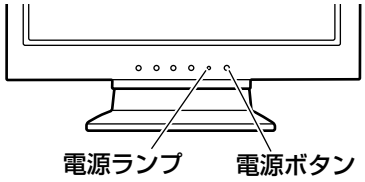

**2. 付属の電源コードをACアダプターに差し込み、電源プラグをAC100Vのコンセントに差し込む。**




> ⚠ 警告 **アース接続をしてください。**アース接続をせずに、万一、故障した場合は感電の恐れがあります。
>
> ●アースリード線をコンセントの他の電極に挿入・接触させないでください。
>
> ●アース接続は、必ず電源プラグをコンセントに差し込む前に行ってください。また、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。順番を誤ると、感電の原因になります。

## 電源の入れかた

**1. モニターの電源ボタンを押す。**
**2. 基本装置の電源を入れる。**
電源ランプが緑色に点灯し、画面が表示されます。




***? Memo***

※ 本機を初めて使用するときや、使用中のシステムの設定を変更したときは、ご使用の前に画面の自動調整(11 ページ)を行ってください。

## 電源の切りかた

**1. 基本装置の電源を切る。**
**2. モニターの電源ボタンを押す。**
電源ランプが消灯します。
長時間使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜いてください。

## ■セットアップ情報の格納について

ご使用の基本装置やＯＳによっては、基本装置側で本機のセットアップ情報の格納等の操作が必要になることがあります。その場合は、下記の手順でセットアップ情報の格納を行ってください。（ご使用の基本装置や OS によっては、名称・操作方法が異なることがあります。基本装置の取扱説明書と併せてお読みください。）

### Windows2000 の場合

Windows2000 に本機のセットアップ情報を格納します。
※ CD-ROM ドライブを「D ドライブ」として説明します。

**1. 基本装置の CD-ROM ドライブに付属のユーティリティーディスクをセットする。**
**2.「スタート」ボタンをクリックし、「設定」から「コントロールパネル」を選ぶ。**
**3.「画面」をダブルクリックする。**
**4.「設定」、「詳細」、「モニタ」の順にクリックする。**
**5.「プロパティ」、「ドライバ」、「ドライバの更新」の順にクリックする。**
**6.「デバイスドライバのアップグレードウィザードの開始」が表示されたら「次へ」をクリックする。**
**7.「このデバイスの既知のドライバを表示して、その一覧から選択する」をチェックし、「次へ」をクリックする。**
**8.「モデル」が表示されたら「ディスク使用」をクリックし、「製造元のファイルのコピー元」が「D:¥」であることを確認して「OK」をクリックする。**
**9. 表示された一覧から本機を選び、「次へ」をクリックする。**
**10.「次へ」をクリックし、モニタ名に本機が表示されていることを確認し、「完了」をクリックする。**
「デジタル署名が見つかりませんでした」と表示された場合は「はい」をクリックしてください。
**11.「閉じる」をクリックして、「画面のプロパティ」を閉じる。**
**12.「OK」をクリックして、ウィンドウを閉じる。**
**13. A ドライブからユーティリティーディスクを取り出す。**

# 画面調整のしかた

## 画面調整について

**画面の自動調整**（11 ページ）
CLOCK(クロック)、PHASE(位相)、H-POS(水平位置)、V-POS(垂直位置)の調整を自動的に行います。

**バックライトの明るさ調整**（右記）
バックライトの明るさを調整します。

**画面の手動調整**（12 ページ）
用意されている調整メニューを利用して微調整をします。

***? Memo***

※ 調整内容は、電源を切っても保持されます。

### ■調整値のオールリセットについて

一度の操作で、すべての調整値を工場出荷時の状態に戻すことができます。

**1. 本機の電源を切る。**
**2. MENU ボタンと SELECT ボタンの両方を押しながら、電源ボタンを押す(電源を入れる)。**
画面に「ALL RESET」と表示されて、リセットが完了します。

***? Memo***

※「ALL RESET」の表示中は、操作ボタンは効きません。
※ 調整ロックが設定されている場合、オールリセットはできません。調整ロックを解除してから操作してください。

### ■調整ロック機能について

操作ボタンを効かなくして(ロック設定)、調整後の内容の変更を防ぐことができます。

**1. 本機の電源を切る。**
**2. MENU ボタンを押しながら、電源ボタンを押す(電源を入れる)。**
画面に「ADJUSTMENT LOCKED」と表示されるまで、ボタンを押し続けてください。
**3. ▶ ボタンを押す。**

***? Memo***

※ ロック設定をすると、電源ボタン以外は効かなくなります。

**調整ロックの解除**
**1. 本機の電源を切る。**
**2. MENU ボタンを押しながら、電源ボタンを押す(電源を入れる)。**
画面に「ADJUSTMENT UNLOCKED」と表示されるまで、ボタンを押し続けてください。
**3. ▶ ボタンを押す。**

## バックライトの明るさ調整

**1. 調整メニューが表示されていない状態で、◀ ボタンまたは ▶ ボタンを押す。**

**2. ◀ ボタン(暗くする)、▶ ボタン(明るくする)を押して調整する。**
**3. MENU ボタンを押す。**
調整用の表示が消えます。

***? Memo***

※ 調整用の表示は、最後のボタン操作から数秒後に自動的に消えます。

# 画面の自動調整

メニュー 1(ADJUSTMENT)の CLOCK(クロック)、PHASE(位相)、H-POS(水平位置)、V-POS(垂直位置)を自動的に調整します。

**? Memo**

※ 本機を初めて使用するときや、使用中のシステムの設定を変更したときは、ご使用の前に自動調整を行ってください。

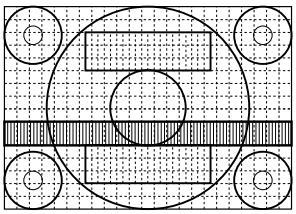
## ■自動調整のための画面表示について

自動調整を行うために、あらかじめ画面全体が明るくなるような画像を表示してください。(本機に付属のユーティリティーディスク(Windows 専用)の調整用パターンをご利用ください。)

**【調整用パターン(Windows 専用)の呼び出しかた】**

**1. 付属のユーティリティーディスクを基本装置の CD-ROM ドライブにセットする。**
**2. 「マイコンピュータ」の CD-ROM を開く。**
**3. 「Adj_uty.exe」をダブルクリックして、調整用プログラムを起動する。**
調整用パターンが表示されます。

**<調整用パターン>**



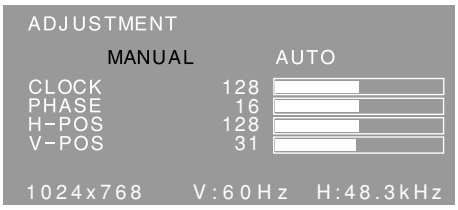
調整終了後は、基本装置の[ESC]キーを押して、調整用プログラムを終了してください。

**? Memo**

※ 使用する基本装置の表示モードが６万５千色の場合、カラーパターンの各色の階調が異なって見えたり、グレースケールが色付きに見えることがあります。(入力信号の仕様によるもので、故障ではありません。)

## ■自動調整のしかた

**1. MENU ボタンを押す。**
「ADJUSTMENT」のメニューが表示されます。




**2. ▶ ボタンを押す。**
画面が黒くなり、「ADJUSTING」と表示され、数秒後に「ADJUSTMENT」のメニューに戻ります。
(これで自動調整は完了です。)
**3. MENU ボタンを４回押して、調整メニューを消す。**

**? Memo**

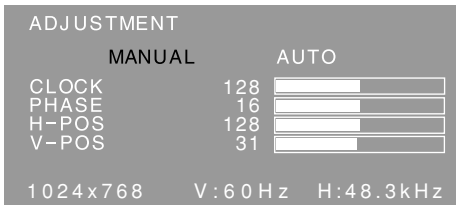
※ 通常は、自動調整だけでご使用いただけます。
※ 自動調整後、次のような場合は必要に応じて手動調整(12 ページ)を行ってください。
- さらに微調整が必要なとき
- 「OUT OF ADJUST」と表示されたとき(画面全体が極端に暗い場合など、表示中の内容によっては自動調整ができないことがあります。再度、自動調整をする場合は、調整用パターンを利用するか、画面全体が明るくなるような画像に変えてみてください。)

# 画面の手動調整

用意されている調整メニューを利用して、画面の微調整をします。

**1. 画面全体が明るくなるような画像を表示させる。**
本機に付属のユーティリティーディスクの調整用パターンを呼び出して、ご利用ください。(11 ページ)

**2. MENU ボタンを押す。**
「ADJUSTMENT」のメニューが表示されます。

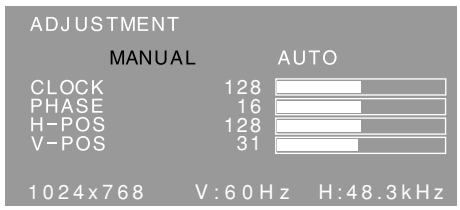



**以降、必要な項目を調整します。**
**MENU ボタンを押すごとに、次のメニューに切り替わります。(メニュー 1→2→3→4→メニュー表示消)**

*? Memo*

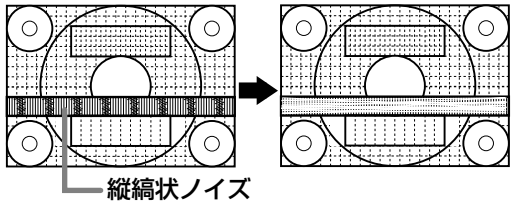
※ 調整メニューは、最後のボタン操作から数秒後に自動的に消えます。
※ 本書では、調整用パターン(Windows 用)を利用した調整のしかたを基本に説明します。

### 【メニュー 1：ADJUSTMENT】

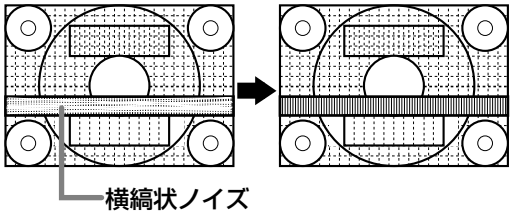



MANUAL ... 必要な項目を手動で調整します。
AUTO ..... 各項目を自動的に調整します。
※ ▶ ボタンを押すと、「AUTO」の選択になります。
※項目の選択　：SELECT ボタン
※メニュー 2 へ　：MENU ボタン

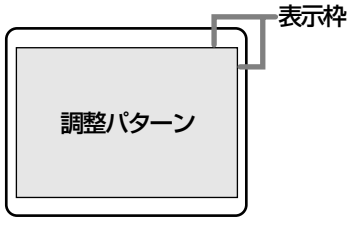
**CLOCK(クロック)**
下図の部分に縦縞状のノイズが出ないように調整します。( ◀ ▶ ボタン)




**PHASE(位相)**
下図の部分に横縞状のノイズが出ないように調整します。( ◀ ▶ ボタン)
※「PHASE」の調整は、必ず「CLOCK」を正しく調整したあとで行ってください。

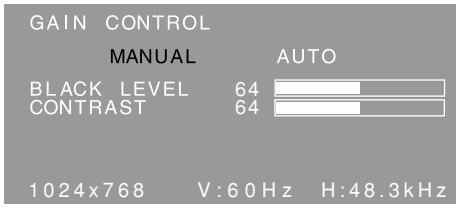



**H-POS(水平位置)、V-POS(垂直位置)**
調整パターンの全体が画面内に表示されるように、左右(H-POS)、上下(V-POS)の位置を調整します。( ◀ ▶ ボタン)



## 【メニュー２：GAIN CONTROL】

「BLACK LEVEL」(黒レベル)と「CONTRAST」(コントラスト)は工場出荷時に調整されています。お好みに合わせて調整してください。




MANUAL ... 必要な項目を手動で調整します。
AUTO ..... オートゲインコントロール機能 * で、「BLACK LEVEL」「CONTRAST」を自動調整します。自動調整後、必要に応じて手動調整してください。

※ ▶ ボタンを押すと、「AUTO」の選択になります。
※項目の選択　：SELECT ボタン
※メニュー３へ ：MENU ボタン

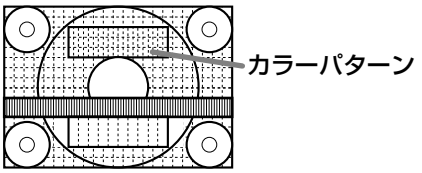
*** オートゲインコントロール機能**

※ 画面に表示中の最も明るい色を基準に黒レベル、コントラストが調整されます。調整パターンを利用しないときは、5mm × 5mm 以上の白色が表示されている必要があり、表示がない場合は調整できないことがあります。(その場合、「OUT OF ADJUST」と表示され、設定値は変化しません。)

※ オートゲインコントロール機能を実行する場合は、先にメニュー３の「WHITE BLANCE」の設定を「USER」以外にしてください。「USER」の場合、オートゲインコントロールはできません。

**BLACK LEVEL(黒レベル)**

カラーパターンを見ながら、画面全体の明るさを調整します。(◀ ▶ ボタン)

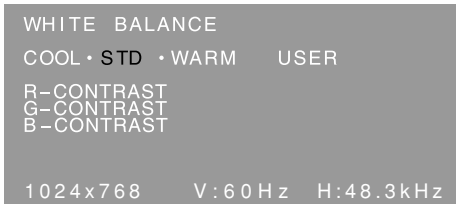



**CONTRAST(コントラスト)**

カラーパターンを見ながら、すべての階調が表示されるように調整します。(◀ ▶ ボタン)

## 【メニュー３：WHITE BALANCE】

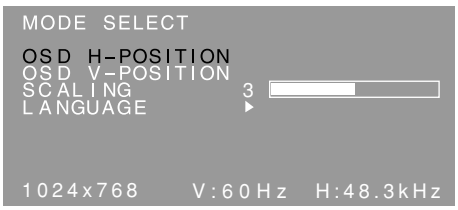
「WHITE BALANCE」(色合い)は、必要に応じて調整してください。(工場出荷時に調整されており、特に調整の必要はありません。)




※「STD」以外では、すべての階調を表示することはできません。すべての階調を表示したいときは、「STD」に設定してください。
※「USER」を選ぶと、「R-CONTRAST」、「G-CONTRAST」、「B-CONTRAST」の設定値が表示され、微調整ができます。
※項目の選択　：SELECT ボタン
※メニュー４へ ：MENU ボタン

COOL ..... 標準設定よりも青みがかった色合い
• ..... 標準設定よりもやや青みがかった色合い
STD ..... 標準設定
• ..... 標準設定よりもやや赤みがかった色合い
WARM ... 標準設定よりも赤みがかった色合い
USER
R-CONTRAST ...◀ ボタンで青緑色、
▶ ボタンで赤色
G-CONTRAST ...◀ ボタンで紫色、
▶ ボタンで緑色
B-CONTRAST ...◀ ボタンで黄色、
▶ ボタンで青色

## 【メニュー４：MODE SELECT】




※入力信号の解像度によっては、項目の選択ができても、表示状態が変わらないことがあります。
※項目の選択　：SELECT ボタン
※調整終了　　：MENU ボタン

### OSD H-POSITION(OSD 画面水平位置)

調整メニューの表示位置を左右に動かします。
( ◀ ▶ ボタン)

### OSD V-POSITION(OSD 画面垂直位置)

調整メニューの表示位置を上下に動かします。
( ◀ ▶ ボタン)

### SCALING(拡大補正レベル)

拡大表示の画像のシャープさを調整することができます。( ◀ ▶ ボタン)
※ 1024 × 768 ドット未満の表示モードの画面を表示させた場合、画面全体に拡大表示されます。(アスペクト比が変わることがあります。)

### LANGUAGE(OSD 言語選択)

調整メニューの言語を変更することができます。
① 「LANGUAGE」を選択して、▶ ボタンを押す。
　言語選択メニューが表示されます。
② SELECT ボタンで言語を選択する。
③ MENU ボタンを押す。

# お手入れ・保管・アフターサービスについて

## お手入れのしかた

お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

### ■キャビネットや操作パネル部分

キャビネットや操作パネル部分の汚れは、乾いた柔らかい布で軽く拭き取ってください。
汚れがひどいときは、柔らかい布を水で薄めた中性洗剤に浸し、よく絞ってから汚れを拭き取ってください。

### ■液晶パネル部分

液晶パネルの表面の汚れやホコリは、乾いた柔らかい布で軽く拭き取ってください。（レンズクリーナーやガーゼなどの柔らかい布でもかまいません。）

**！ご注意**

※ シンナー、ベンジン、アルコール、ガラスクリーナー等は絶対に使用しないでください。変色や変形の原因になります。
※ 硬いものでこすったり、強い力を加えないでください。傷が付いたり、故障の原因になります。

***？ Memo***

※ 本機で使用している蛍光管には水銀が含まれています。本機を廃棄するときは、地方自治体の条例・規則に従ってください。詳しくは各地方自治体にお問い合わせください。

## 保管にあたって

長時間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

**！ご注意**

※ ゴム製品やビニール製品などと長時間接触させないでください。変色や変形の原因になります。

## 故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、修理を依頼される前に次の点をご確認ください。
それでも正常に動かないときは、お買いあげの販売店、または当社営業にご連絡ください。

---

**本機で使用している蛍光管には寿命があります。**

※ 画面が暗くなったり、チラついたり、点灯しないときは、寿命です。お買いあげの販売店、または当社営業にお問い合わせください。
※ ご使用初期において、蛍光管の特性上、画面がチラつくことがあります(故障ではありません)。その場合は、いったん電源を切り、電源を入れ直してご確認ください。

---

**画面に何も表示されない(電源ランプ消灯)**

※ AC アダプターおよび電源コードが正しく接続されていますか。(8 ページ)

**画面に何も表示されない(電源ランプ点灯)**

※ 基本装置と正しく接続されていますか。(8 ページ)
※ 基本装置の電源が入っていますか。
※ 基本装置の信号タイミングが本機の仕様に合っていますか。(18 ページ)
※ 基本装置の省電力機能が動作していませんか。

**操作ボタンが効かない**

※ 調整ロックが設定されていませんか。(10 ページ)

**VGA 画面以外が表示されない**

※ Windows のディスプレイのタイミング設定が本機の仕様に合っていますか。本機の信号タイミングを参考にして(18 ページ)、適切なタイミングに設定してください。

**画面が乱れている**

※ 基本装置の信号タイミングが本機の仕様に合っていますか。(18 ページ)
※ 画面自動調整を行ってください。(11 ページ)

## アフターサービスについて

### ■製品の保証について

この製品には保証書がついています。保証書は、販売窓口にて所定事項を記入してお渡しいたしますので、内容をよくお読みのうえ大切に保存してください。
保証期間はお買いあげの日から 1 年間です(ただし、光源の蛍光管は消耗品ですので、保証の対象になりません)。保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
保証期間後の修理は、お買いあげの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

### ■補修用性能部品について

当社は、この液晶モニターの補修用性能部品を製造打切後、5 年間保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品のことです。

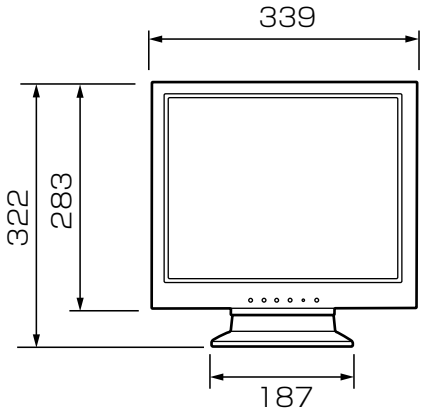
### ■修理を依頼されるときは

先に「故障かな?と思ったら」をお読みのうえ、もう一度お調べください。
それでも異常があるときは、使用をやめて、電源コードをコンセントから抜き、お買いあげの販売店、または当社営業に修理をお申し付けください。
ご自分での修理はしないでください。たいへん危険です。
アフターサービスについてわからないことは、お買いあげの販売店、または当社営業にお問い合わせください。

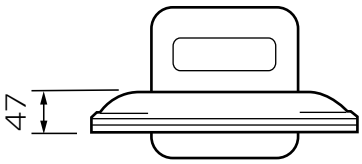
# 仕　様

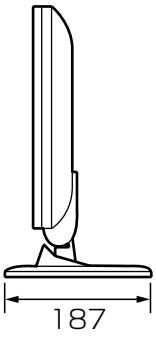
**液晶表示素子**
　15型(対角38cm) TFTカラー液晶
**最大解像度**
　XGA 1024 × 768
**最大表示色**
　1619万色(6ビット＋FRC2ビット)
**画素ピッチ**
　水平0.297mm ×垂直0.297mm
**最大輝度**
　260cd/m²
　※ 画面の輝度は経年により低下します。一定の輝度を維持するものではありません。
**コントラスト比**
　350：1
**視野角**
　左右160°　上下135°
**表示画面サイズ**
　横304.1mm ×縦228.1mm
**映像入力信号**
　アナログRGB（0.7Vp-p）[75 Ω]
**同期入力信号**
　水平／垂直セパレート（TTL正／負）
**対応周波数**
　「対応信号タイミング」参照
**拡大補正**
　デジタルスケーリング（VGA/SVGA等を補正して拡大表示）
**プラグ&プレイ**
　VESA DDC1 ／ DDC2B対応
**パワーマネージメント**
　VESA DPMS 準拠
**コンピュータ信号入力端子**
　15ピン ミニD-sub（3列）
**画面角度調整（チルト）**
　上向きに約0°～約25°、下向きに約0°～約5°
**電　源**
　AC100V　50/60Hz (専用ACアダプター使用)
**使用温度条件**
　5～35℃
**消費電力**
　最大00W（待機時消費電力0W）
　(専用ACアダプター使用)
**外形寸法**
　幅339mm ×奥行187mm ×高さ322mm
**質　量**
　本体 約0.0kg　(ディスプレイ部のみ 約0.0kg)
　(いずれもACアダプター含まず)

## ■外形寸法図 (単位mm)

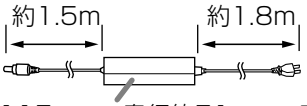



**アナログ信号ケーブル長：**約1.8m




**専用ACアダプターと電源コード：**




幅約115mm×奥行約51mm×高さ約32mm

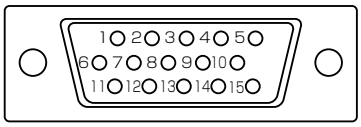
## ■対応信号タイミング

| 表示モード | | 水平周波数 | 垂直周波数 | ドット周波数 |
|---|---|---|---|---|
| VESA | 640×480 | 31.5kHz | 60Hz | 25.175MHz |
| | | 37.9kHz | 72Hz | 31.5MHz |
| | | 37.5kHz | 75Hz | 31.5MHz |
| | 800×600 | 35.1kHz | 56Hz | 36.0MHz |
| | | 37.9kHz | 60Hz | 40.0MHz |
| | | 48.1kHz | 72Hz | 50.0MHz |
| | | 46.9kHz | 75Hz | 49.5MHz |
| | 1024×768 | 48.4kHz | 60Hz | 65.0MHz |
| | | 56.5kHz | 70Hz | 75.0MHz |
| | | 60.0kHz | 75Hz | 78.75MHz |
| PC-9800 シリーズ | 640×400 | 24.8kHz | 56.4Hz | 21.053MHz |
| | | 31.5kHz | 70.0Hz | 25.175MHz |
| US TEXT | 720×400 | 31.5kHz | 70.0Hz | 28.3MHz |

・すべてノンインターレースのみの対応です。
・本機で対応していない信号タイミングが入力されたときには、「OUT OF TIMING」と表示されます。その場合、ご使用の基本装置の取扱説明書にもとづき、本機で対応している信号タイミングに設定してください。
・本機に何も信号(同期信号)が入力されない場合、「NO SIGNAL」と表示されます。

## ■コネクタのピン配列

ミニD-subコネクタ 15ピン




| 番号 | 機　能 |
|---|---|
| 1 | 赤映像信号入力 |
| 2 | 緑映像信号入力 |
| 3 | 青映像信号入力 |
| 4 | N.C. |
| 5 | N.C. |
| 6 | 赤映像信号用GND |
| 7 | 緑映像信号用GND |
| 8 | 青映像信号用GND |
| 9 | DDC+5V |
| 10 | N.C. |
| 11 | GND |
| 12 | DDCデータ |
| 13 | 水平同期信号用入力 |
| 14 | 垂直同期信号用入力 |
| 15 | DDCクロック |

## ■パワーマネージメント

本機は、VESA DPMS(※ 1)、Energy Star(※ 2)に準拠しています。
本機のパワーマネージメント機能を動作するためには、ビデオカードや基本装置もVESA DPMS 規格に適合している必要があります。

※ 1 DPMS：Display Power Management Signaling

| DPMSモード | 画面 | 消費電力 | 水平同期 | 垂直同期 |
|---|---|---|---|---|
| ON STATE | 表示 | 00W | あり | あり |
| STANDBY | 無表示 | 0W | なし | あり |
| SUSPEND | | | あり | なし |
| OFF STATE | | | なし | なし |

※ 2 Energy Star：

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。
『国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はコンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機等のオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク(ロゴ)は参加各国の間で統一されています。』

## ■ DDC(プラグ&プレイ)

本機は、VESA の DDC(Display Data Channel)規格をサポートしています。
DDC とは、モニターと基本装置のプラグ&プレイを行うための信号規格です。モニターと基本装置の間で解像度などに関する情報を受け渡しします。この機能は、基本装置が DDC に対応しており、プラグ&プレイモニターを検出する設定になっている場合に使用できます。
DDC には、通信方式の違いによりいくつかの種類があります。本機は、DDC1 と DDC2B に対応しています。

# ご参考：VESA 規格準拠アームの取り付けかた

本機は、VESA 規格に準拠したアームを取り付けることができます。アームは、お客様でご用意ください。

本機に取り付けるアームは、以下の点に注意してお選びください。

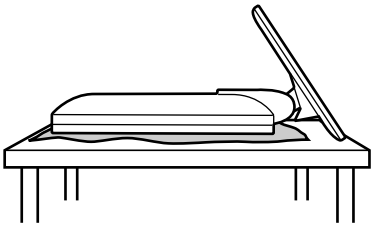
・VESA 規格に対応し、モニターに取り付ける部分のネジ穴間隔が 75 × 75mm のもの。
・モニターを取り付けても外れたり、倒れたりしないもの。

**⚠ 注意　指を切ったり、けがをしないようにご注意ください。**

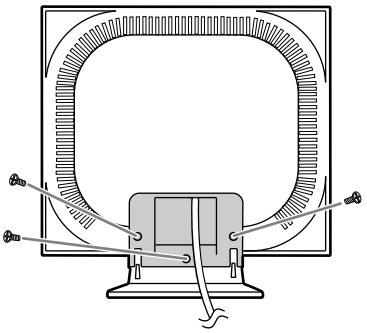
※ RGB 信号ケーブルや AC アダプターのケーブルを無理に曲げたり、ケーブルに力が加わらないようにしてください。断線などの故障の原因になります。

**1. 電源スイッチを切り、電源端子から AC アダプターを外す。**

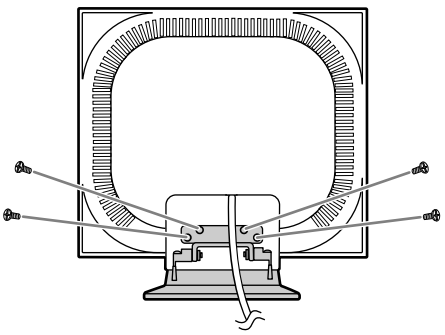
**2. モニターを傷つけないように柔らかい布などを水平なところに敷き、モニターの表示部を下向きにして置く。**



**3. ネジを 3 本外し、スタンドカバーを外す。**

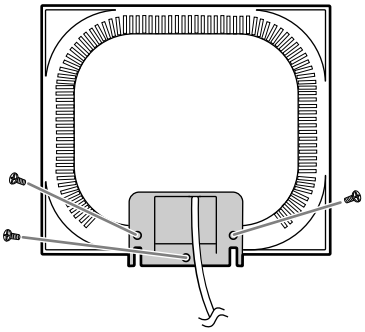


**4. ネジを 4 本外し、スタンドをモニター部から外す。**

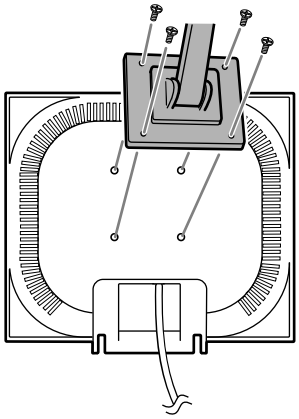


※ スタンドは、本機専用です。
取り外したスタンドは、絶対に他の機器に取り付けないでください。
また、取り外したネジはスタンドとともに保管し、スタンドに戻すときは、必ず元のネジを使用してください。
別のネジを使用すると、故障の原因になります。

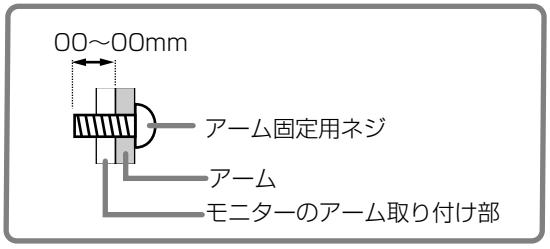
**5. スタンドカバーを取り付ける。**



**6. アームをネジ 4 本で固定します。**



※ アームの固定用ネジはアームの取り付け面からの長さが 00 ～ 00mm の M4 をご使用ください。
それ以外のネジをご使用になると、脱落や、モニターの内部を破損する恐れがあります。




**7. AC アダプターを電源端子に接続する。**

N8171-42
15型液晶ディスプレイ取扱説明書
2004年10月初版

NEC 日本電気株式会社
東京都港区芝5丁目7番1号

©NEC Corporation 2004
日本電気に許可なく複製・改変などを行うことはできません。

Printed in Taiwan
000000000000
(0000000000000)(0)